

景観配慮協議申出書

令和8年 3月 3日

(宛先) 鎌倉市長



住所 [Redacted]
 届出者 氏名 [Redacted] I
 電話 ()
 住所 鎌倉市御成町 3-10 鎌万ビル 2階 A
 代理人 氏名 株式会社 邸宅巣箱 早坂直貴
 電話 050 (3554) 1185

〔 法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	旧市街地の住宅地		
景 観 地 区	<input checked="" type="checkbox"/> 内 (区分1 鎌倉景観地区) <input type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	鎌倉市御成町 3-10 鎌万ビル 2階 A	
	氏 名	株式会社 邸宅巣箱 早坂直貴	電話 050 (3554) 1185
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市 小町 3-453 一部	
	用 途 地 域	第一種低層住居専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定 令和8年 3月 31日	完了予定 令和9年 10月 31日	

(裏)

建築物の概要	用途	戸建て住宅			
	最高の高さ	8.332 m	階数	地上 2 階 地下 階	
	構造	木造			
	敷地面積	872.4 m ²			
	建築面積	343.23 m ²	届出以外の部分	m ²	合計 343.23 m ²
	延べ面積	472.73 m ²	届出以外の部分	m ²	合計 472.73 m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m	
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²			
	仕上材	屋根	ガルバリウム鋼板	色彩	屋根
外壁		木羽目板貼り仕上げ 左官仕上げ	外壁		5Y8/1 ベージュ 2.5Y7/2 ベージュ
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²			
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³) その他 ()			

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着眼点	計画地周辺の現況等記入欄
地域的特徴	計画地は鎌倉市小町三丁目、滑川沿いに位置し、周辺は緑豊かな河川環境と落ち着いた住宅街が広がる地域である。鎌倉駅から程近い市街地でありながら、周囲には中・低層の住宅が連なり、落ち着いた住環境・歴史性を感じさせる街並みが形成されている。
まち並みの連続性	周辺の建物は2階建てを中心とした低層住宅で構成され、外壁は木素材や左官仕上げ淡色系の落ち着いた色彩が多く見られる。道路からのセットバックや植栽による緑視が確保されており、滑川沿いの緑と連続した景観の連続性が形成されている。
周辺建物のデザイン	伝統的な意匠を残す建物と現代的な住宅が混在するが、いずれも過度な主張を避け、周囲の環境に調和した控えめな外観デザインが多い。自然素材の使用や水平スケールを意識した構成など、景観への配慮が感じられる。
眺望景観	本計画地は滑川に面し、河川越しに緑が広がる良好な眺望を有する。周囲には遠景を阻害する高層建築物がなく、住宅地としての落ち着いた視環境が保たれている。
景観資源	滑川の自然環境、沿道の植栽、歴史ある住宅街の佇まいが周辺の景観資源といえる。また、東勝寺橋からは、滑川や自然の四季折々の風景を眺めることができる。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
配置	◎	建物は道路側から十分にセットバックし、前面に緑化帯を確保する計画とした。これにより歩行者への圧迫感を軽減し、周辺の緑豊かな街並みと連続する柔らかな景観を形成する。また、滑川側への過度な突出を避け、河川景観への影響を最小限とする。
形態意匠	◎	建物は平面・断面方向に雁行配置とし、ボリュームを分節することで、周囲の低層住宅街に調和するスケール感を確保した。単一の大きな壁面をつくらず、陰影のある立体構成とすることで、視覚的な圧迫感を抑えつつ、周辺街並みのリズムに寄り添う意匠としている。
色彩	◎	外壁は天然木板張りや左官仕上げを採用し、周囲に多く見られる自然素材の建物と同調させている。色調は落ち着いたアースカラーとし、景観計画の基準に沿った控えめな色彩構成とした。
建築設備	◎	屋外に露出する設備機器は極力抑え、必要な設備についても目立たない位置に配置した。室外機等は外構や植栽で視線を和らげる計画とし、周囲の景観を阻害しないよう配慮している。
外構緑化	◎	道路側には緑化帯を積極的に設けるほか、敷地全体に自然素材と植栽を組み合わせた外構計画を行っている。滑川沿いの自然環境と連続する植栽とすることで、周辺環境の向上に寄与し、鎌倉の良好な景観形成に資するものとしている。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
造成		
擁壁		
敷き際・緑化		

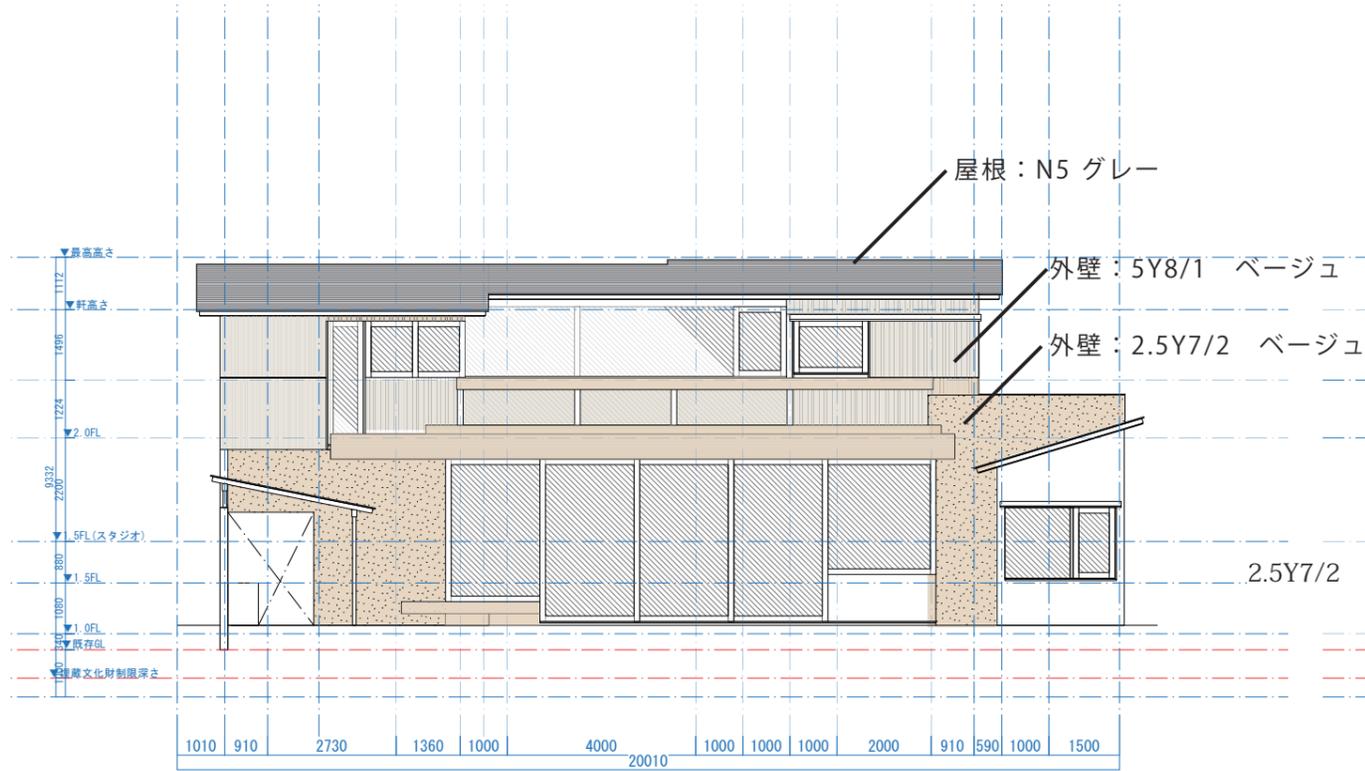


【建築の概要】

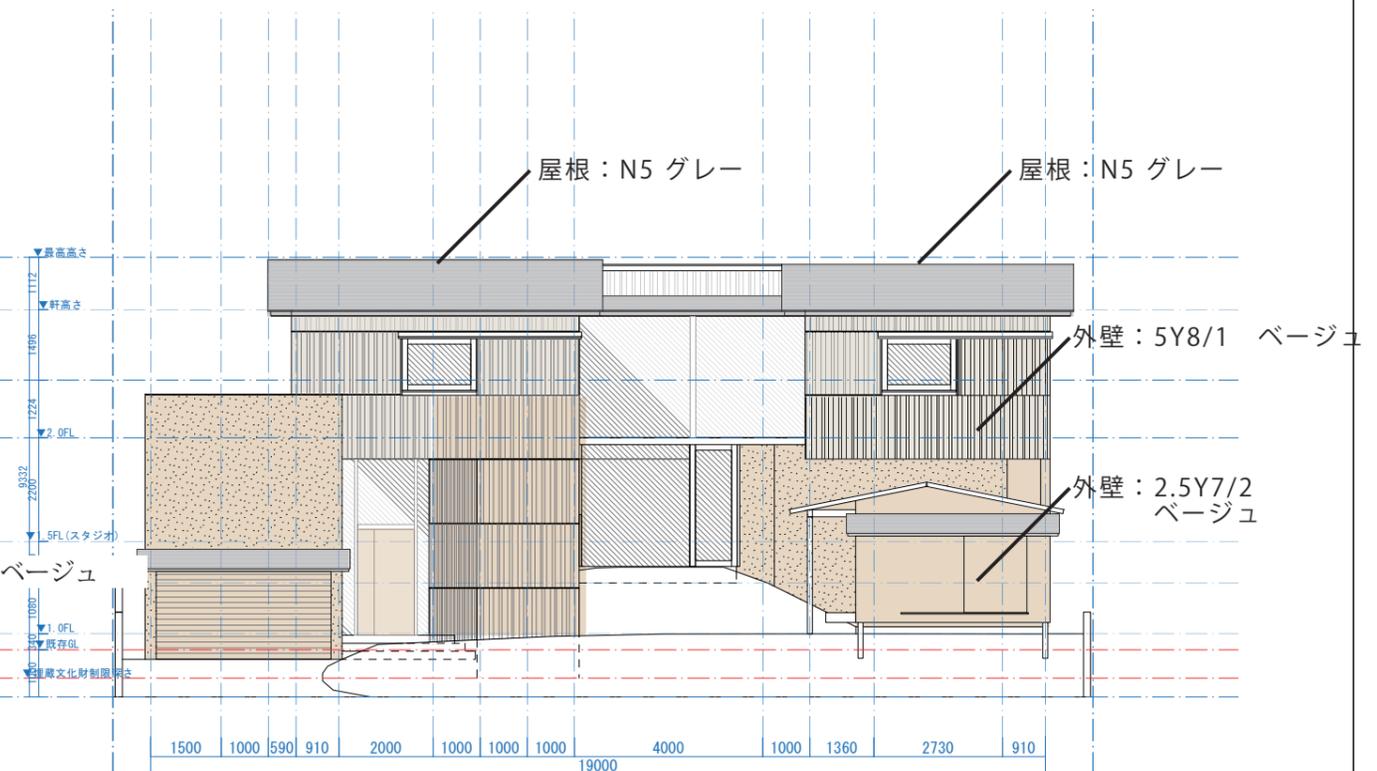
住所 : 鎌倉市小町3-4-9
 地名地番 : 鎌倉市小町3-453 一部
 建築主 : XXXXXXXXXX
 建築主住所 : XXXXXXXXXX
 用途 : 戸建住宅

敷地面積 : 881.04㎡
 建築面積 : 339.59㎡
 延床面積 : 416.78㎡

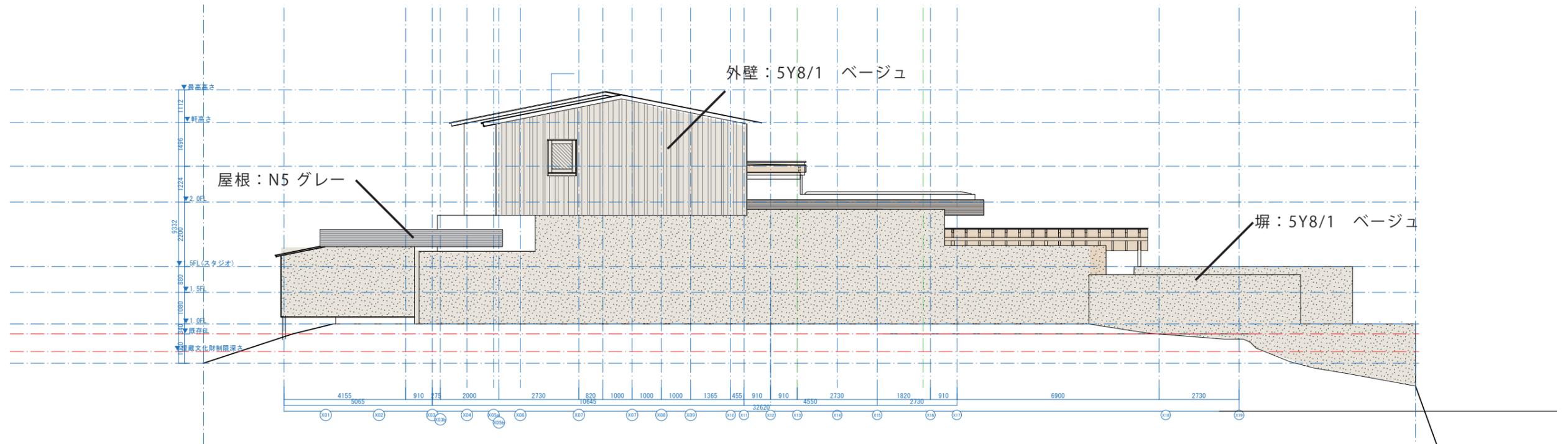
位置図



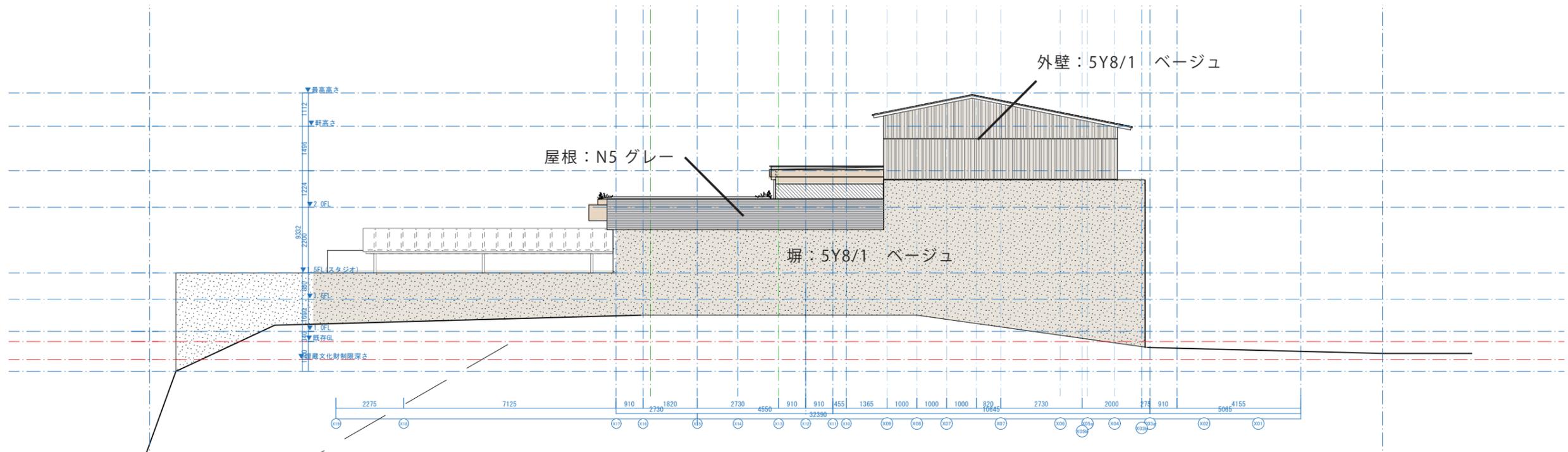
南東立面図



北西立面図

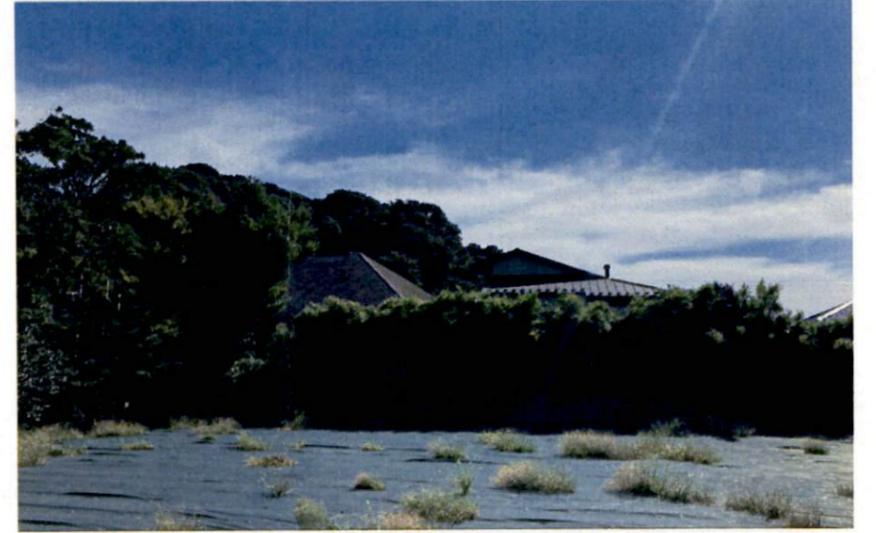
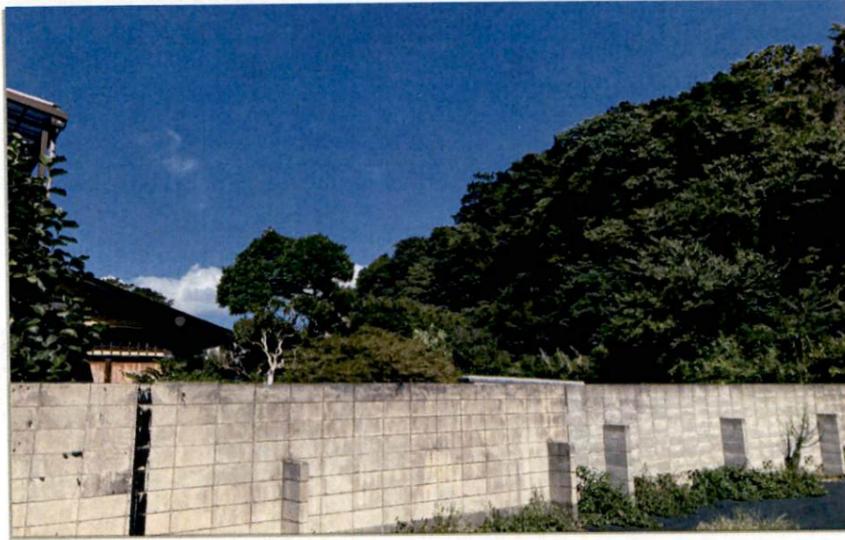
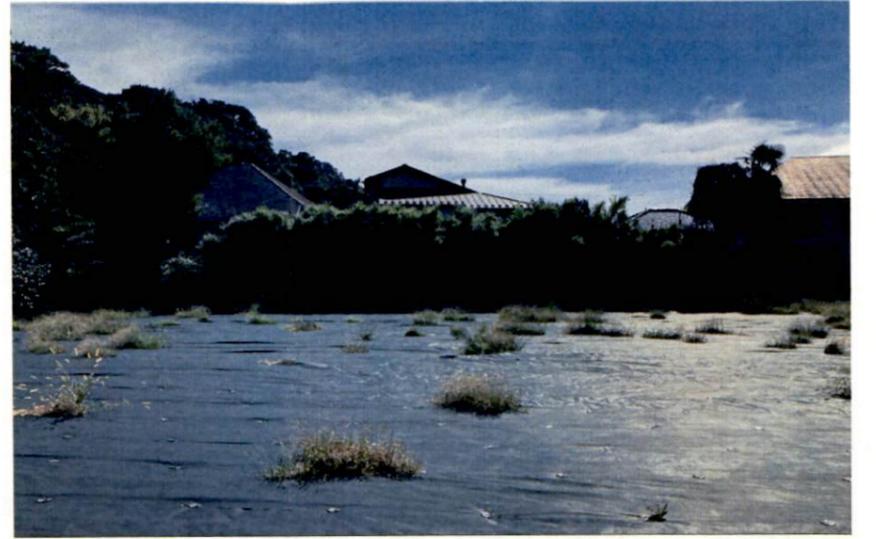
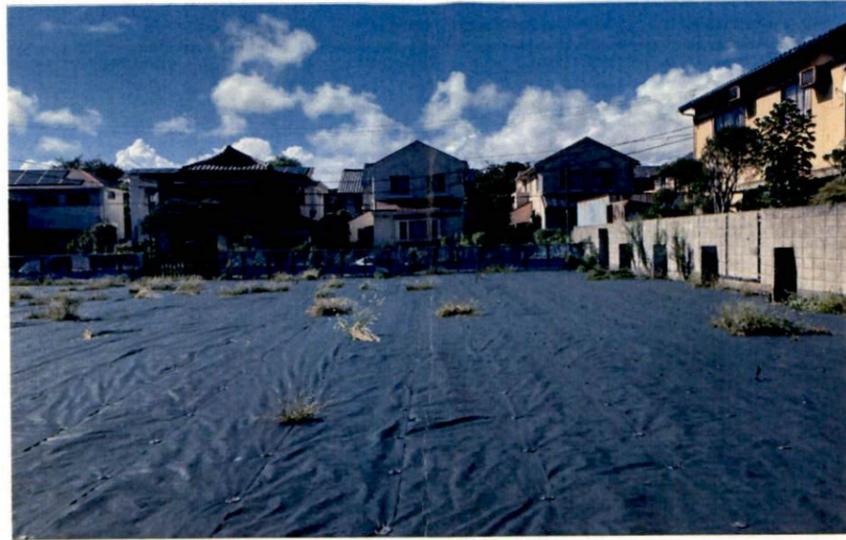
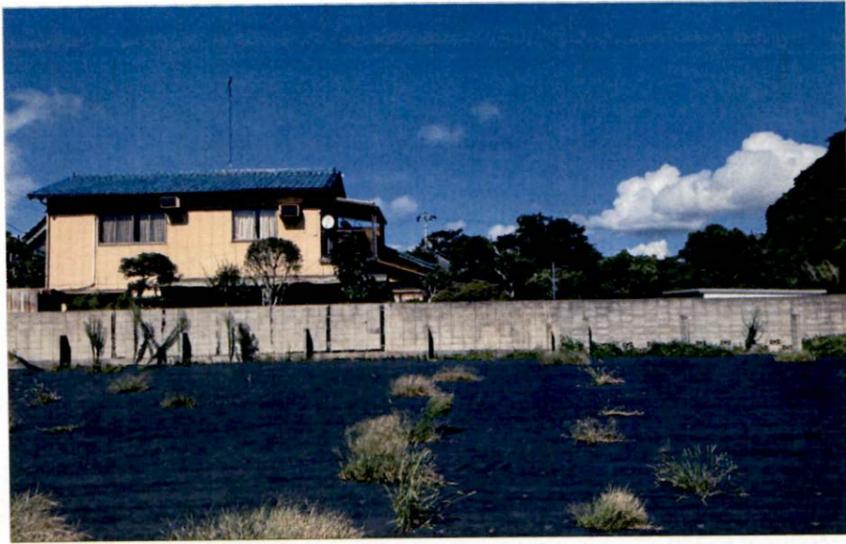


南西立面図



北東立面図





現況写真